

令和5年度(2023年)神奈川県『県民ニーズ調査』(第2回課題調査) 調査票

この調査は、県民の皆様のご意見やお考えをお聴きし、今後の県の施策を検討する基礎資料とするものです。日ごろのお考えを率直にお聴かせください。

折り目

折り目

【テーマ】

- | | |
|--------------|-------------|
| 1 地震対策の取組み | 6 アレルギー疾患 |
| 2 子ども・子育て支援 | 7 依存症に対する意識 |
| 3 かながわの水源地域 | 8 肝炎対策 |
| 4 生物多様性 | 9 かながわの人権 |
| 5 「未病改善」の取組み | |

◆ 記入上の留意事項

- この調査のご回答は、封筒のあて名のご本人様にお願いいたします。
- この調査は無記名式です。お名前やご住所の記入は不要です。
- お答えは、直接、この調査票のあてはまる番号を○で囲んでください。
- ご記入いただく筆記用具の種類や色の指定はありません。
- 分かる質問だけお答えいただければ結構です。

ご記入いただいた調査票は、同封の返送用封筒に入れ、
11月21日(火)までにご投函ください。
(切手の貼り付け、お名前やご住所の記入は不要です)

折り目

折り目

【お問い合わせ先】

神奈川県 政策局 政策部 情報公開広聴課 広聴グループ

○ お問い合わせフォーム

二次元コードから送信

※ 11月21日まで受付

○ 電話 (045)210-3672

※ 受付時間：月～金 8:30～17:15
(土日祝日は閉庁)



※ インターネットからもご回答
いただけます!

二次元コードから
回答画面へ



インターネットからご回答された方は、調査票の郵送は不要です。

1 地震対策の取組み

問1 家では、大きな地震に備えて、どのような対策をとっていますか。 (〇はいくつでも)
(n=1,213) (%)

1 持出品の準備や食料などの備蓄	62.8	6 防災訓練に積極的に参加	9.8
2 住まいの耐震化	23.2	7 感震ブレーカー※などの設置	7.7
3 家具・家電などの固定	36.6	8 消火器の設置	28.3
4 避難場所や避難経路の確認	40.4	9 その他	1.1
5 家族と連絡方法の確認	31.8	10 特に対策はとっていない	11.0
(無回答 1.2)			

県では、首都直下地震や南海トラフ地震、県西部地震の発生の切迫性が指摘されるなど、大規模地震に対する備えが重要な課題となっています。

※ 感震ブレーカーとは、揺れを感知して電気を止める器具のことをいいます。

問2 海岸や海岸近くで、地震による強い揺れや長い時間の揺れを感じたら、どのように行動しますか。 (〇は1つ) (n=1,213) (%)

1 すぐに海岸から避難する(5分以内)	91.4	3 津波が迫ってから避難する	1.0
2 用事を終えてから避難する(15分以内)	2.8	4 分からない	2.6
(無回答 2.2)			

問3 津波について、知っていたことを選んでください。 (〇はいくつでも) (n=1,213) (%)

1 小さな揺れでも大きな津波になることがある	72.5	6 遠い所ではなく高い所に逃げる必要がある	81.2
2 津波の伝わる速さは非常に速く、早ければ地震発生後数分で到達する(※1)	76.4	7 津波フラッグ(※3)が出ることがある	10.6
3 津波は、繰り返し襲ってくる	80.5	8 放送で津波を知らせることがある	57.5
4 「津波避難ビル」に指定の建物がある	26.8	9 「津波防災地域づくりに関する法律」がある	3.8
5 津波に関するマップ(※2)がある	44.0	10 どれも知らなかった	1.0
(無回答 1.2)			

※1 津波は海が深いほど速く伝わり、沖合いではジェット機と同様の速さで伝わります。

※2 津波に関するマップとは、津波の浸水範囲や避難情報などが記載されている、津波浸水予測図マップや津波ハザードマップなどのことをいいます。

※3 津波フラッグとは、津波警報・注意報などが発表された際、避難を呼びかけるために海岸に出される赤と白の格子模様の旗のことをいいます。

問4 津波に対する防災・減災の観点から、実施が望まれるものはありますか。 (○はいくつでも)
(n=1,213) (%)

1 「津波災害警戒区域」(※1)の指定	57.3	4 その他	3.1
2 「津波災害特別警戒区域」(※2)の指定	49.0	5 特になし	7.3
3 「推進計画」(※3)の策定	36.2	6 分からない	18.8
			(無回答 3.5)

※1 津波災害警戒区域とは、津波発生時に住民などに危害が生じる恐れがある区域のことをいいます。

※2 津波災害特別警戒区域とは、津波災害警戒区域のうち、住民などに著しい危害が生じる恐れがある区域のことをいいます。

※3 推進計画とは、津波防災地域づくりを推進するために市町村が作成する計画のことをいいます。

2 子ども・子育て支援

問5 子どもに関する取組みを進める上で、年齢や発達段階に応じて子ども自身の意見を聴くことは重要だと思いますか。 (○は1つ) (n=1,213) (%)

1 重要だと思う	59.5	4 どちらかといえば重要だと思わない	2.4
2 どちらかといえば重要だと思う	26.3	5 重要だと思わない	1.5
3 どちらともいえない	6.0	6 分からない	2.5
			(無回答 1.8)

問6 希望する人が、希望する人数の子どもを持つことができる社会を実現するために、どのような取組みが特に重要だと思いますか。 (○は3つまで) (n=1,213) (%)

1 妊娠・出産・教育などの子育て費用の負担軽減	59.4
2 若い世代の所得向上(賃上げや、職業能力向上のための学び直し支援など)	38.3
3 幼稚園・保育園、放課後児童クラブの受け皿確保や質の向上	47.7
4 多様な支援ニーズに対するサービス※の拡充	16.2
5 仕事と家庭生活を両立できる制度の充実(育児休業取得促進や働き方改革の推進など)	45.8
6 子どもや子育てを応援する機運の醸成	8.6
7 子どもや子育てにやさしい街づくりや設備の充実	19.5
8 その他	5.6
9 特になし	1.3
10 分からない	1.4
(無回答 8.2)	

※ 多様な支援ニーズに対するサービスとは、不安を抱える妊産婦への相談支援、保護者のいない子どもや医療的ケア児といった支援を必要とする子どもへの支援などをいいます。

3 かながわの水源地域

問7 家で使っている水道の水源はどこか知っていますか。 (○は1つ) (n=1,213) (%)

1 具体的な水源(ダム名・河川名・井戸など)を知っている	25.5	
2 ある程度知っている	42.0	
3 知らない	29.5	(無回答 3.1)

問8 次のうち、かながわの水源地域※について知りたいことは何ですか。 (○はいくつでも)
(n=1,213) (%)

1 ダムなどの役割	32.9	5 祭りや工芸といった地域の文化、風習	9.9
2 森林や河川の保全	62.2	6 その他	1.6
3 動植物などの生態系	33.3	7 特になし	19.5
4 地域の歴史	17.4		(無回答 3.1)

※ かながわの水源地域とは、水道水源としてのダム湖(相模湖、奥相模湖、津久井湖、丹沢湖及び宮ヶ瀬湖)が位置する地域である相模原市(城山地区、津久井地区、相模湖地区及び藤野地区)、山北町、愛川町、清川村のことをいいます。

問9 水源地域の外で「やまなみグッズ」※を購入したい場所や方法はありますか。 (○はいくつでも)
(n=1,213) (%)

1 百貨店やショッピングモールなどでの催し	29.8	5 電話やFAXなどによる取り寄せ	3.0
2 祭りやイベントにおける出張販売	22.6	6 その他	1.2
3 アンテナショップによる販売	18.5	7 特になし	43.0
4 インターネットによる販売	21.2		(無回答 3.3)

※ やまなみグッズとは、かながわの水源地域の素材や、自然の恵みを生かした食品、工芸品などの特産品のことをいいます。

4 生物多様性

問 10 「生物多様性」※の言葉の意味を知っていますか。 (○は1つ) (n=1,213) (%)

1 知っている	36.7	3 知らなかった	21.9
2 言葉は聞いたことがある	38.4		(無回答 3.0)

※ **生物多様性**とは、様々な自然が存在し、そこに住む様々な生きものたちに個性があり、お互いに関わりを持っていることをいいます。

問 11 生物多様性を保全するために日頃から心がけていること、実践していることはありますか。

(○はいくつでも) (n=1,213) (%)

1 生態系に配慮した農畜水産物(※1)を買う	21.9	5 生物多様性を保全する活動に参加する	2.9
2 生物多様性保全に取り組む企業(※2)の製品を買う	13.9	6 家族や友人と生物多様性保全の話を	4.6
3 身近な自然を生物多様性の視点で考える	27.9	7 その他	0.7
4 生物多様性に関する記事や広告に目を留める	21.2	8 特にな	46.6
			(無回答 3.5)

※1 **生態系に配慮した農畜水産物**とは、環境保全型農業や有機畜産により生産された農畜産物、持続可能な漁業による水産物のことをいいます。例えば、有機JAS認証やエコファーマーマーク、海のエコラベルがついた製品が挙げられます。

※2 **生物多様性保全に取り組む企業**とは、製品製造時に環境負荷軽減に配慮したり、清掃や植林などの保全活動を継続して実施したりしている企業のことをいいます。

問 12 お住いの周辺地域の自然環境は、おおよそ3年前と比べてどのような変化があったと感じますか。 (○は1つ) (n=1,213) (%)

1 豊かになった	2.1	4 どちらかといえば劣化した	20.0
2 どちらかといえば豊かになった	4.7	5 劣化した	10.0
3 変化はない	51.0	6 分からない	9.7
			(無回答 2.4)

5 「未病改善」の取組み

問 13 「未病（ME-BYO）」※の言葉の意味を知っていますか。 (○は1つ) (n=1,213) (%)

1 知っている	33.3	3 知らなかった	36.1
2 言葉は聞いたことがある	29.4	(無回答 1.2)	

※ **未病**とは、健康と病気を「二分論」の概念で捉えるのではなく、心身の状態は健康と病気の間を連続的に変化するものと捉え、すべての変化の過程を表す概念のことをいいます。

問 14 過去1年間で「未病改善」※の取組み（バランスの良い食事、運動、人との交流など）を以前と比べて行うようになったと思いますか。 (○は1つ) (n=1,213) (%)

1 もともに行っており、今も行っている	24.4
2 以前ほどではないが、少しずつ行っている	22.3
3 以前は行っていたが、まったく行わなくなった	2.2
4 以前は行っていなかったが、行うようになった	5.9
5 以前は行っていなかったが、少しずつ行うようになった	15.0
6 以前から行っておらず、今も行っていない	28.2
(無回答 2.0)	

※ **未病改善**とは、心身の状態の変化の中で、特定の疾患の予防にとどまらず、心身をより健康な状態に近づけていくことをいいます。県では「食」「運動」「社会参加」を基本に、「未病改善」の取組みを進めています。

問 15 「未病改善」の取組み（バランスの良い食事、運動、人との交流など）をするにあたって必要だと思うものは何ですか。 (○は3つまで) (n=1,213) (%)

1 医師など、専門家からの健康状態に関するアドバイス	37.8
2 健康に良い食材や調理方法など、食に関する情報	43.0
3 ボランティア募集など社会参加できる情報や相談窓口	6.8
4 スポーツセンターなど、気軽に運動ができる施設	37.4
5 家族、友人など、一緒に健康に良い行動ができる仲間	32.2
6 健康状態を気軽に知ることができる施設やイベント	29.1
7 民間企業が提供する健康関連の商品サービス	4.1
8 将来（10～20年後）の自分に起こりうる健康リスクを知ること	29.8
9 その他	1.9
10 特になし	3.6
11 分からない	4.8
(無回答 3.3)	

問 16 「フレイル」※という言葉を知っていますか。 (○は1つ) (n=1,213) (%)

1 知っている	27.0	3 知らなかった	54.1
2 言葉は聞いたことがある	16.7	(無回答 2.2)	

※ **フレイル**とは、高齢になって心身の活力（筋力、認知機能、社会とのつながりなど）が低下した状態のことをいい、多くの方が健康な状態からこのフレイルの段階を経て、要介護状態になると考えられています。

6 アレルギー疾患

問 17 5年前と比べて、アレルギー疾患(食物アレルギー、気管支ぜん息、アトピー性皮膚炎、花粉症など)の症状のある方が、増えていると思いますか。(〇は1つ) (n=1,213) (%)

1 増えていると思う	73.1	3 減っていると思う	0.5
2 変わらないと思う	13.4	4 分からない	12.2
(無回答 0.7)			

【次の問 18、問 19 は、アレルギー疾患の症状のない方は、ご自分やご家族に症状があると仮定してお答えください】

問 18 アレルギーの症状があるときに、どの診療科を受診すればよいかなどについて、相談窓口やインターネットなどで、信頼性がある情報を受け取ることができていると思いますか。(〇は1つ) (n=1,213) (%)

1 そう思う	18.8	4 どちらかといえばそう思わない	7.9
2 どちらかといえばそう思う	26.2	5 そう思わない	12.2
3 どちらともいえない	25.6	6 分からない	7.8
(無回答 1.5)			

問 19 アレルギー疾患の症状のある方がどのような支援を受けられるとよいと思いますか。(〇はいくつでも) (n=1,213) (%)

1 ホームページなどによる医学的に正しい情報の提供	48.1
2 医療機関や専門医についての情報の提供	59.6
3 アレルギー疾患についての講座の開催	14.8
4 花粉や大気汚染などへの対策による生活環境の改善	52.1
5 アレルギー疾患の状態に応じた適切な治療	66.1
6 保育所・学校などでの給食や症状への適切な対応	30.3
7 行政や関係機関における相談	13.4
8 その他	2.0
9 特にない	2.0
10 分からない	1.9
(無回答 0.8)	

7 依存症に対する意識

問 20 依存症※について、あてはまると思うことを選んでください。(○はいくつでも)
(n=1,213) (%)

1 誰でもなる可能性がある	87.3	6 依存対象が生活の最優先事項になる	27.9
2 意志が弱いことが原因でなるわけではない	36.2	7 その他	0.5
3 やめたくても、やめられなくなる病気である	64.2	8 分からない	1.6
4 回復することはできるが時間がかかる	56.1	9 あてはまるものはない	0.6
5 自分が依存症であることを認めない	33.0		(無回答 1.5)

※ 依存症とは、アルコールや薬物など、特定の物質を摂取することや、ギャンブルやゲーム、インターネットなど、特定の行動にのめり込み、心やからだ、社会生活に問題が出ることをいいます。

問 21 依存症について、相談できる場所として知っているものを選んでください。(○はいくつでも)
(n=1,213) (%)

1 依存症専門医療機関・専門クリニック	59.4		
2 かかりつけ医（内科医など）	29.8		
3 行政機関（精神保健福祉センター、保健所など）	28.5		
4 回復支援施設（依存症の回復のための通所・入所施設）	34.1		
5 当事者や家族などの自助グループ	20.9		
6 弁護士・司法書士	1.7		
7 その他	0.2		
8 分からない	15.6		
9 知っているものはない	7.0		(無回答 2.2)

【問 21 で 1～7 を選んだ方へ】

問 21-1 相談できる場所を知ったきっかけを選んでください。(○はいくつでも) (n=912) (%)

1 ポスター・チラシ	20.1	6 家族・知人から	10.7
2 県・市町村の広報誌（県のたよりなど）	23.1	7 職場・学校	10.7
3 医療機関・行政機関などのホームページ	25.8	8 その他	12.7
4 ソーシャルメディア（※1）	23.1	9 分からない、覚えていない	11.3
5 電車内・街中のデジタル広告（※2）	9.2		(無回答 7.6)

※1 ソーシャルメディアとは、例えばX（旧 Twitter）、Facebook、Instagram などがあります。

※2 デジタル広告とは、電車のドア上や網棚上の液晶ディスプレイ、街中のデジタルサイネージなどを使った広告のことをいいます。

【全員の方がお答えください】

問 22 依存症の回復に必要なと思うものは何ですか。(○はいくつでも) (n=1,213) (%)

1 医療機関などでの治療	76.7	6 家族の説得	13.9
2 専門相談機関への相談	67.5	7 借金の肩代わり	0.7
3 家族や職場など周囲の人の理解	65.4	8 その他	1.4
4 自助グループへの参加 （当事者が自身の体験などを話し合う）	34.0	9 特にない	0.3
5 本人の強い意志	48.9	10 分からない	2.1
			(無回答 1.8)

8 肝炎対策

問 23 「ウイルス性肝炎」※という病気を知っていますか。 (○は1つ) (n=1,213) (%)

1 知っている	54.0	3 知らなかった	8.7
2 言葉は聞いたことがある	35.1	(無回答)	2.1

※ **ウイルス性肝炎**とは、肝炎ウイルスにより肝臓の細胞が破壊され炎症が起きる病気のことをいいます。日本では特にB型、C型肝炎にかかる人が多くなっており、肝硬変や肝がんなどの命に関わる病気に進行することもあります。

問 24 これまでに「肝炎ウイルス検査」※を受けたことがありますか。 (○は1つ) (n=1,213) (%)

1 ある	17.1	3 ない	62.2
2 受けた可能性がある	7.7	4 分からない	11.1
		(無回答)	1.9

※ **肝炎ウイルス検査**は、本人が自覚的に受ける場合のほか、大きな外科手術（全身麻酔での手術で1993年以降に経験）、妊娠・出産（1993年以降に経験）及び献血（1990年以降に経験）をしたときに無自覚に受けた可能性があります。

【問 24 で 1、2 を選んだ方へ】

問 24-1 検査の結果を知っていますか。 (○は1つ) (n=301) (%)

1 知っている	79.1	3 分からない、覚えていない	16.9
2 知らない（結果待ちを含む）	4.0	(無回答)	-

9 かながわの人権

問 25 今の日本は基本的人権が尊重されている社会だと思いますか。 (○は1つ) (n=1,213) (%)

1	そう思う	30.4	3	そう思わない	14.4
2	どちらともいえない	50.6		(無回答)	4.5

問 26 インターネットでの人権侵害を防ぐために、特に力を入れて取り組む必要があると思うことは何ですか。 (○は3つまで) (n=1,213) (%)

1	違法な情報発信に対する監視や取締りを強化する	67.9
2	プロバイダ（インターネット接続業者）などに人権を侵害する情報の削除を求める	58.1
3	インターネットで人権侵害を受けた人のための相談体制を整備する	43.3
4	インターネットの利用者やプロバイダに、プライバシーや名誉に関する正しい理解を広める	36.9
5	その他	2.5
6	特にない	1.6
7	分からない	6.5
	(無回答)	6.6

問 27 県内での、同和地区出身者に対する差別についてどう思いますか。 (○は1つ) (n=1,213) (%)

1	実際に見聞きしたことがあるし、今でもあると思う	9.2
2	実際に見聞きしたことがあるが、今ではないと思う	7.8
3	実際に見聞きしたことはないが、今でもあると思う	35.6
4	実際に見聞きしたこともないし、今ではないと思う	17.9
5	分からない	26.2
	(無回答)	3.2

同和問題とは、日本社会の歴史的発展の過程で形づくられた身分階層構造に基づく差別により、日本国民の一部の人々が長い間、経済的、社会的、文化的に低位の状態を強いられ、同和地区と呼ばれる地域の出身者であることなどを理由に日常生活の上で様々な差別を受けるなどしている、わが国固有の人権課題です。

問28 もし、あなたにお子さんがいて、そのお子さんの結婚する相手が同和地区出身者であると分かったら、どうしますか。 (○は1つ) (n=1,213) (%)

1	結婚相手の出自（家柄）にはこだわらない	27.4
2	子どもの意思を尊重して結婚を認める	43.7
3	親としては反対するが、子どもの意思が強ければ結婚を認める	18.8
4	家族や親戚の反対があれば、結婚を認めない	2.1
5	絶対に結婚を認めない	2.2
	(無回答)	5.9

…**

最後に、集計結果を分析するために必要な項目についてお聞きします。(個人を特定するものではありません。)

F 1 お住まいの地域はどちらですか。 (n=1,213) (%)

1	横浜(横浜市)	38.8
2	川崎(川崎市)	14.2
3	相模原(相模原市)	7.3
4	横須賀三浦(横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、葉山町)	7.8
5	県央(厚木市、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市、愛川町、清川村)	8.3
6	湘南(平塚市、藤沢市、茅ヶ崎市、秦野市、伊勢原市、寒川町、大磯町、二宮町)	16.8
7	県西(小田原市、南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町)	3.7
		(無回答 3.0)

F 2 あなたの性別をお聞かせください。 (n=1,213) (%)

1	男性	44.7	2	女性	51.1	(無回答 4.2)
---	----	------	---	----	------	-----------

F 3 あなたの年齢は、おいくつですか。(2023年11月1日現在) (n=1,213) (%)

1	18~19歳	-	5	35~39歳	5.4	9	55~59歳	12.2	13	75~79歳	7.4
2	20~24歳	1.3	6	40~44歳	9.3	10	60~64歳	10.2	14	80歳以上	1.5
3	25~29歳	2.7	7	45~49歳	11.0	11	65~69歳	7.9			
4	30~34歳	3.2	8	50~54歳	12.4	12	70~74歳	12.0	(無回答 3.3)		

F 4 あなたにはお子さんがいらっしゃいますか。あてはまるものをすべて選んでください。(同居、別居は問いません。) (n=1,213) (%)

1	小学校入学前	8.7	5	短大、専門学校等在学中	3.7	9	その他	2.7
2	小学校在学中	12.0	6	大学、大学院等在学中	4.5	10	子どもはいない	27.0
3	中学校在学中	7.6	7	学校教育終了[未婚]	23.1			
4	高校在学中	7.4	8	学校教育終了[既婚]	25.6	(無回答 3.6)		

F 5 現在のお宅の家族形態は、次のどれにあたりますか。 (n=1,213) (%)

1	一人暮らし(単身世帯)	13.4	4	祖父母と親と子の世帯(3世代世帯)	4.4
2	夫婦のみ(1世代世帯)	27.6	5	その他の世帯	4.8
3	親と子の世帯(2世代世帯)	46.2	(無回答 3.7)		

F 6 あなたの現在のお仕事は、次のどれにあたりますか。1～9の中から1つ選んでください。
また、1～5を選んだ方は、右のア～ケの中から1つ選んでください。

(n=1,213) (%)		(n=793) (%)	
1 自営業主	5.6	ア 農林水産業	0.4
2 家族従業者 (家業手伝い)	1.2	イ 商工サービス業(各種商店、飲食店、工事店などの経営)	4.4
3 勤め (フルタイム)	42.2	ウ 自由業(開業医、弁護士、茶華道師匠、芸術家など)	4.9
4 勤め (パートタイム)	16.3	エ 経営・管理職(会社等の部長級、官公庁の課長級以上)	8.8
5 内職	0.1	オ 専門・技術職(研究員、技術者、勤務医、看護師など)	19.5
6 主婦・主夫(勤めていない)	16.1	カ 事務職(事務系会社員・公務員、警察官、駅員など)	24.5
7 学生	0.4	キ 教育職(教諭、保育士など)	6.4
8 無職	13.9	ク 技能・労務職(工場の生産工程従事者、運転士など)	11.0
9 その他	0.4	ケ 販売・サービス職(商店、サービス業などの従業員)	16.9
(無回答 3.8)		(無回答 3.2)	

質問は以上です。最後までご協力いただき、ありがとうございました。

同封の返送用封筒で、11月21日(火)までにご投函ください。(切手は不要です。)
なお、インターネットからご回答された方は、調査票の郵送は不要です。

今回の調査でお伺いしたテーマについて、ご意見やご提案がありましたら、お書きください。

ご意見やご提案を希望するテーマの番号に○をつけてください。

- | | |
|--------------|-------------|
| 1 地震対策の取組み | 6 アレルギー疾患 |
| 2 子ども・子育て支援 | 7 依存症に対する意識 |
| 3 かながわの水源地域 | 8 肝炎対策 |
| 4 生物多様性 | 9 かながわの人権 |
| 5 「未病改善」の取組み | |

下記にその内容をご記載ください。

211人(17.4%)から自由意見が寄せられました。